

令和8年度 総合的な学習の時間 全体計画案 江戸川区立南篠崎小学校

名称： 総合的な学習の時間

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・よく考え進んで学ぶことも ・きまりを守り責任を果たすことも 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく思いやりのあることも ・心身ともにたくましいことも
----------------	---	--

国が示す総合的な学習の時間の目標

<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>

学校の総合的な学習の時間の目標

<p>1自ら課題をもち、主体的・創造的に追究し、解決する資質や能力をのばす。</p> <p>2探究活動に主体的に取り組む過程を通して、学び方を身につける。</p> <p>3学んだことを学習や生活に生かそうとする気持ちをもつ。</p> <p>4学んで気づいたことやわかったことを、自分なりの方法でまとめ、表現する力を身に付ける。</p> <p>5自分の思いや考えを大切に、友達と協力しながら、問題の解決や探究活動に取り組む態度を身に付ける。</p>

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
動植物の世話を通して、生命が多様に存在していることを知る。郷土の歴史や文化のよさを知る。自分のよさを認め、自分の将来について夢をもつ。ローマ字入力やインターネット検索等のICT活用スキルを高める。	稲作文化や雪国の暮らし、昔の人々の暮らしを体験的に理解する。福祉や外国の文化について調べ、互いに関わり合うよさを考えて話し合う。
思考力・判断力・表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
問題状況の中から課題を発見し、設定する。手段を選択し、情報を収集する。課題解決を目指して、事象を比較して考える。相手に応じて分かりやすくまとめ、表現する。	解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。必要な情報を収集し、分析する。相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現する。学習の仕方を振り返り、今後の学習や生活に生かそうとする。
学びに向かう力・人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。自己の将来を考え、夢や希望をもつ。異なる意見や他者の考えを受け入れる。	自らの生活の在り方を見直し、実践する。他者と共同して課題を解決する。自己の将来を考え、夢や希望をもつ。身の回りの環境とのかかわり方を考えて生活する。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	パソコンと友達になろう(タイピング、PowerPoint) 虫を育てよう・小麦を育てよう 江戸川区の今と昔の様子を調べよう	タイピングなどのパソコン操作になれる。 学校で見つけた生き物の飼育し、興味をもったことを調べ、本にまとめる。 農園の小麦を育て、収穫する。 昔の暮らしの様子について学校図書館やインターネットで調べ、パワーポイントなどを活用してまとめ、発表をする。
第4学年	学習のまとめをプレゼンテーションしよう(PowerPoint) 東京や日本の工芸品について調べよう ユニバーサルデザイン(SDG's)について調べよう プログラミングに挑戦しよう	パワーポイントなどを活用し、インターネットや本で調べたことを、効果的にまとめ、プレゼンテーションをする。 東京都や日本の都道府県について調べ、情報を発信していく。 ユニバーサルデザイン(SDG's)について学校図書館やインターネットで調べてまとめ、発表する。 マイクロビットなどを使って、簡単なプログラミングを行う。
第5学年	将来の仕事について調べよう(キャリア教育) 外国の文化、日本の文化について調べよう ウィンタースクール(調べ学習、報告書作成) プログラミングに挑戦しよう	日本と比較しながら、外国の文化について調べ、プレゼンテーションをする。 興味をもった仕事について調べてまとめる。 雪国の自然や暮らしについて調べ、体験し、まとめる。 マイクロビットなどを使って、プログラミングを行う。
第6学年	日光移動教室(日光の自然・歴史・文化) 将来の仕事について人生の先輩たちに聞こう(キャリア教育) プログラミングに挑戦しよう	日光について調べ、移動教室の体験を活かしてまとめる。 将来の仕事について調べてまとめる。さらに関心のある仕事に就いている人から直接話を聞く会を企画し、運営する。 マイクロビットなどを使って、プログラミングを行う。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
学習内容は、学年共通とする。課題の内容や児童の実態に応じて、学年合同で取り組んだり、学級ごとで取り組んだりする。児童の興味・関心に基づく課題、学年に応じた課題、地域や学校の特色に応じた課題などで、単元を設定する。	問題意識を高め、課題を明確にし取り組む工夫をする。解決に向け、見通しをもった活動ができるよう手立てや準備、情報収集についての工夫をする。体験、観察、実験、発表、討論などを重視する。各教科との関連を図った学習活動を実施する。協働的な学習の場を充実させる。	各単元の専門のゲストティーチャーや地域の人材の活用を積極的に取り入れる。個人やグループでの学習など多様な学習形態に対応できる指導体制を確立する。	個人の成長や成果を重視する。指導と評価を一体化する。学期末や学年末に指導計画の見直しと、再構成をする。授業分析により指導内容や方法を評価する。